

第2回 中部圏広域地方計画協議会準備会 議事概要

1. 開催概要

日 時：平成19年8月2日（木） 16:30 ~ 18:00

場 所：名古屋観光ホテル 2階 曙（東）

2. 議事内容

1) 中部圏広域地方計画策定について

①全国計画（素案）の概要

②中部圏広域地方計画の方針（案）
について

③今後のスケジュールについて

2) 意見交換



意見交換：「中部圏の将来像の方向性」について

- 「交流と産業振興」と「安全な地域づくり」と国土の保全や自然環境の保全、食糧の供給などから、中山間地域の産業・生活基盤の確立、持続可能な地域経営の支援が必要。（長野県）
- 中部圏各県の個性を生かした「連携・協力」と北陸圏との連携強化を位置づけた計画づくりが必要。「広域観光の推進」「モノ作りの集積を促進させるための産業基盤整備」「災害に強い圏域に向けた広域連携」が重要。（岐阜県）
- 多極分担型圏域構造を目指し、広域交通基盤の整備による連携と役割分担が重要。（静岡県）
- 地域産業、農林水産業の持続的発展を期する目標が必要。流域圏における環境の取組が重要。（三重県）
- 日本海側と中部圏を結ぶ広域交通基盤整備による広域連携が重要。広域観光、モノ作り産業の連携により北陸圏との一体的な発展が重要。
（富山県、石川県、福井県、滋賀県）
- 三遠南信地域において、中山間地域の持続的発展の先進的な取組をしており、計画へ反映すべくビジョンづくりをしている。（浜松市）
- 広域交流基盤整備による交流促進、新たな価値の創造やブランド戦略の展開などによる独創的な産業の振興、世界レベルの自然資源の保全・継承、災害対策等安全・安心な圏域づくりが重要。（静岡市）
- 「環境首都圏」「世界的なモノづくり産業首都圏」「交流の拡大」が重要。（名古屋市）
- 「世界的な産業技術の中核圏域の形成」「世界に開かれた国際交流圏の形成」という視点が必要。中部国際空港の2本目滑走路の実現が重要。（中部経済連合会）
- 東アジア経済圏との一体化を進めていくことが必要。国土の南北軸強化が重要
（静岡県商工会議所連合会）
- さらなる中部らしい発展のために骨太のプロジェクト（中部国際空港二本目滑走路・COP10・飛行研究センター・知の拠点・広域防災拠点・日中韓観光大臣会合等）が必要（愛知県）